

平成27年度 施策評価表

作成年月日：平成28年8月29日	課・グループ名	保健福祉課健康子育てグループ
------------------	---------	----------------

施策名	③母子保健対策の推進と充実 4-2-③
------------	---------------------

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(2) 町民の健康予防対策	③母子保健対策の推進と充実

①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが健やかに成長できるように、関係団体と連携して、効率的で質の高い母子保健事業並びに子育て支援事業を推進します。 ●子どもたちの健全な成長発達と生活習慣病予防を重視し、母子ニーズの把握及びデータ収集と分析を行い、事業を展開します。 ●むし歯予防のために、食生活改善とブラッシング指導に努めます。また、フッ化物洗口事業については、関係機関と連携を図りながら継続実施に努めます。
--------------	--

②施策の現状と課題	現 状	課 題
	<ul style="list-style-type: none"> ●町では年々出生数が減少しており、それに伴い各事業の参加数減少が顕著となっていますが、子どもの成長にあったアドバイスや子育て不安の解消に向けて支援を展開しています。 ●平成23年度から「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」に基づき、関係機関との連携のもと、むし歯有病率を減らすため、園児・児童・生徒に対してフッ化物洗口事業を実施しています。 ●平成25年度からスタートした南幌町健康づくり計画に基づいて、妊産婦及び乳幼児、学童期の生活習慣病の予防と生活習慣の改善に向けて事業を展開しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠・子育て期の様々な課題に対して、母子のニーズに沿った質の高い事業展開が求められています。 ●南幌町では成長過程にある幼児学童期からの肥満が課題となっていることから、毎年の肥満度のデータ収集及び分析を行っていくことが必要です。 ●むし歯予防対策においては、ライフステージにあった食生活の改善とブラッシング指導を実施し、より一層むし歯予防に関心を持っていただけるよう努める必要があります。

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

	設定の意図	まちづくりの成果指標名	数値化
① 成果指標	乳幼児健診および幼児歯科検診は、母子の健康管理の場であり子育て支援の場となっていること、また、乳幼児健診については受診勧奨を徹底しているため、受診率を成果指標としている。	成果指標 (総合計画・施策評価)	○ 可 能
		A 乳幼児健診受診率	不可能
		B 幼児歯科検診受診率	未計測
		代替指標 ※成果指標がない場合	指標の設定
			可 能
			不 可 能
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。			

②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26			
A 目標	%	95	95	95	95(向上)	95以上	健診の必要性の定着や個別通知により、高い受診率を維持している。
A 実績	%	98.6	97.4	98.6	99.5		
A 達成率	%	103.9	102.5	103.8	104.7		
B 目標	%	95	95	95	95(向上)	95以上	就労している方が増えてきており、達成率は低下の傾向にあるが、個別通知による受診勧奨を行い、未受診者に対しては、再勧奨により受診率を維持向上させていくよう努める。
B 実績	%	95	93	86	90.6		
B 達成率	%	100	97.9	90.5	95.4		

評価視点	評価結果	理由、課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	出生数が減少しているが、各々が抱える子育て課題は多様化しており、子育て期の正しい情報の選択や地域でのつながりがもてる子育て支援を行い、母子の健康づくりに努める必要がある。
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)	
	施策の達成度 A	

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H27実績	H28予算	
					実績								
1	母子保健事業	(1)	保健福祉課	別紙	別紙	別紙	・母子保健法等に基づき、母子手帳発行、妊婦健康診査、乳幼児健診、歯科検診等の実施と、妊娠、出産、育児に関する正しい知識の普及ため各種教室等を開催し、子どもの心身の成長と親の育児不安解消のため実施している。 ・永久歯の虫歯予防のために園歯科医・学校歯科医のもとで町内保育園・幼稚園及び町内小・中学校において集団でフッ化物洗口に取り組む。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	4,726	高い	
					別紙	別紙					6,256		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	4,726
H28予算	6,256

②H28に実施した新規事務事業

実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1				
2				
3				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	多様化する個々の子育て期のニーズに沿うように、訪問・相談などの個別対応、各種教室の実施による正しい知識の普及を行い、母子手帳発行から就学に向けての切れ目ない母子保健サービスの提供を継続していく必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号						平成29年度以降 の子算の方向性	
			A							
			B	1						拡大
			C						○	維持
			D							縮小